

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

未来へつむぐ家

グループの名称

つむぐ家の会

直近採択グループ番号

04-0244-0291

(グループ代表者)

代表者名

大場 貴弘

代表者印

代表者所属先

株式会社創建社

代表者所在地

神奈川県横浜市都筑区すみれが丘12-3

代表者電話番号

045-593-1883

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社創建社

事務局担当者名

大場 貴弘

印

事務局郵便番号

224-0025

事務局所在地

神奈川県横浜市都筑区すみれが丘12-3

事務局電話番号

045-593-1883

事務局FAX

045-592-3140

事務局担当者E-mail

taka-o@soukens.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		4	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限165万円)		2	戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	4棟	/			
			500㎡				
		申請が未確定	4棟				
			500㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	申請確定分については着工期日の早い順とする。申請予定分においてはグループ構成員それぞれ着工期日の早い順を優先する						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来へつむぐ家	(地域型住宅供給対象地域) 東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 静岡県 富山県 和歌山県 三重県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) つむぐ家の会	(結成年) 2016年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0244-0291	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	HEAT20によるG1レベルのUA値(0.56w/m ² K)を最低基準として設定。気密性能もC=0.5cm ³ /m ³ を満たす。耐震性能も等級3を標準とするが、場合によっては最低等級2は確保する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	在来木造軸組工法による高気密・高断熱・高耐久を基準として建物の通風・採光及び換気計画を考慮し、快適かつ躯体性能を永年担保できる計画とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	躯体性能を永年担保するため、家族構成の変化による間取り等の可変性にも対応できる構造及び意匠上の間仕切壁の配置計画の検討。	◎
④①～③の背景	住宅の省エネ化が叫ばれ、義務化への対応も進む情勢の中、従来の日本住宅の30年にも満たない住宅寿命のスクラップビルドからの脱却を目指し、高気密・高断熱・高耐久の仕様による躯体性能の継続化により、何世代にも渡り受け継いでいける家を増やしていくことにより、日本の将来の豊かさに寄与していきたい。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	基本在来3尺モジュールとする	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:	◎
②-1 建材・資材調達の商品化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	出来る限り単一メーカーに絞り、コスト及び無駄をなくす	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 気密及び断熱仕様	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 気密測定	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造及び完成見学会の開催	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来へつむぐ家	(地域型住宅供給対象地域) 東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 静岡県 富山県 和歌山県 三重県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) つむぐ家の会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0244-0291	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール ■ ない □ ある → 内容:	
①-2	情報サービス機関の活用 ■ ない □ ある → 内容:	
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 ■ ない □ ある → 内容:	
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール □ ない ■ ある → 内容: 点検マニュアルの整備開始	○
②-2	補修の共通ルール ■ ない □ ある → 内容:	
②-3	点検補修実施の確認手法 □ ない ■ ある → 内容: 半年/1年/2年にてマニュアルにて点検	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 □ ない ■ ある → 内容: 構造及び完成見学会を住宅毎に1~2回開催	○
③-2	DIY体験会等の実施 □ ない ■ ある → 内容: 住宅毎にお施主様による仕上工事(塗装等)の体験実施	○
③-3	その他の相談会等の実施 ■ ない □ ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 ■ ない □ ある → 内容:	
⑤	その他の維持管理の手法 ■ ない □ ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール ■ ない □ ある → 内容:	
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 ■ ない □ ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 □ ない ■ ある → 内容: 部位毎の現場見学会の開催	○
②-1	品質管理のための共通ルール □ ない ■ ある → 内容: 施工マニュアル作成着手	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 □ ない ■ ある → 内容: 気密測定 現場確認	○
③-1	需給計画の策定 ■ ない □ ある → 内容:	
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 □ ない ■ ある → 内容: 各部施工方法については、住宅毎に検証を行い改善を模索していく	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 □ ない ■ ある → 内容: 情報の共有化	○
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 2	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 2	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 □ ない ■ ある → 内容: 各部位の施工職人についても、当該仕様の必要性の理解を求め	○
c		
①	新たな技術等の導入 □ ない ■ ある → 内容: 確認 検証 改善の繰り返し	○
②	新たな技術等の開発 □ ない ■ ある → 内容: 同上	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 未来へつむぐ家	(地域型住宅供給対象地域) 東京都 神奈川県 埼玉県 千葉県 静岡県 富山県 和歌山県 三重県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) つむぐ家の会	(結成年) 2016 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0244-0291	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

※1 気密性能

C=0.5cm³/m³ 基準

(充填断熱の場合 → 現場発泡ウレタンフォーム等にて気密施工)

(外張断熱の場合 → 外周耐力壁外側及び屋根野地外側に気密フィルムにて気密施工)

※2 断熱性能

屋根： 屋根裏側へ現場吹付若しくは現場発泡の断熱材を最低厚さ300mmを基本として施工

かつ屋根通気も確保

外壁： 充填厚若しくは外張厚さとも最低100mmを基本として施工

かつ外壁通気も確保

開口部： 開口部は木製若しくは樹脂製を基本としてUw値は2.33W/m²Kは最低守る

基礎： 気密工法として外張断熱を基本とする

上記仕様によりUA値を0.56W/m²K以下にする

※3 構造耐久性

外周耐力壁は構造用面材を及び間仕切り壁は筋交いを基本として、耐震等級3以上となるべく設計

上記性能にて年間の光熱費削減を図り

場合によっては第一種の熱交換換気機器導入により更なる暖房費等の削減を図る

※上記3項目によりREADY ZEH仕様とし、太陽光発電設備を設置することによりいつでもZEH仕様にてできることにする。

このことにより

①建物の耐久性の確保

②何世代も受け継いでいける住宅の提供

③READY ZEH仕様により省エネルギー化

④将来的な蓄電池等の開発普及の際には太陽光等も活用し本当のゼロエネを目指す。

⑤最終的には当該建物が普及していくことで、地域環境負荷低減及び個々の生活の豊かさへ寄与し、日本経済の豊かさへもつながっていくことになると考えます。